

教科書 p 48～49

組 番 名前 (_____)

1 地図帳を見て、沖縄県の位置を確認しましょう。その後、教科書 p 48 の 1～3 の資料を見て、沖縄県の気候の様子についてまとめましょう。

・沖縄では、3月から4月に () をしている。

・沖縄には、毎年、およそ () 個の () が通る。沖縄県は、日本で最も台風^{ひがい}の被害が () 県である。

・沖縄の^{なは}那覇は、冬でも気温は () °C以上あり、あたたかい。

2 教科書 p 49 4 や 5 の資料を見て、沖縄県では、あたたかい気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

3 沖縄でさいばいされている作物、沖縄の観光地や文化など、沖縄県について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

1 教科書 p 50・51 を読んで、あたたかい気候に合った農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「さとうきびのさいばい」

・さとうきびは、^{しゅうかく}収穫時の高さが () にもなり、沖縄県内で () つくられている作物。() や () などに強く、() とよばれ、大切にされている。

・さとうきびは、() 月ごろから () 月ごろに収穫される。

「パイナップルのさいばい」

・国内産のほとんどが () で生産される。パイナップルは、植え付けてから収穫まで () もかかる。

・パイナップルが、沖縄の暑い日差しで () しないように一つ一つ () につつんだり、() をかけたりして工夫している。

・収穫は () に行われ、葉の先にあるとげから体を守るために () 作業服を着て収穫するので、大変。

2 教科書 p 52・53 を読んで、あたたかい気候に合った観光や沖縄の課題について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「沖縄県の観光」

・1年を通して ()、美しい自然が残されており、世界遺産の () もある。また、プロ野球やサッカーチームの () も行われている。

・観光客は年々 () いる。また () 観光客も増えており、さまざま () の () の設置を進めるなどのくふうをしている。

「沖縄県の課題」

・() の温度が上がることなどによって () が弱ってしまう。

・() などによって、() が海に流れこみ、環境を悪化させる。

・アメリカの () が多い。

1 教科書 p 54・55 を読んで、沖縄県の文化について () にあてはまる言葉を書きましょう。

・140 年ほど前、沖縄県には王国 (琉球王国) があった。() はそのころの建物をよみがえらせたもので、() に登録されている。

・地域には () とよばれるおどりが今も残っている。

・沖縄県の料理には、() や () など特産物が使われている。

・() は沖縄県の歌やおどりには欠かせない楽器。

・沖縄県の人々は、自分たちの() を大切に守り、次の世代に() としている。

2 あたたかい土地のくらしの特色を考え、教科書 p 55 の表にあるキーワードを使って、キャッチコピーをつくりましょう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きましょう。

キャッチコピー

--

理 由

--

1 地図帳を見て、北海道の位置を確認しましょう。その後、教科書 p56 の①～③の資料を見て、北海道の気候の様子についてまとめましょう。

・北海道では、() や () の学習をしている。

・北海道の冬は、気温は () °C以下になり、寒い。

・北海道の札幌市は、東北地方のほかの都市と比べると、() が多く、1年間の () のふる量が青森市に次いで多い。

2 教科書 p57 ④や⑤の資料を見て、北海道では、寒い気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

3 北海道の雪に対する取り組み、北海道でさいばいされている作物、北海道の観光地や文化など、北海道について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

1 教科書 p 58・59 を読み、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「札幌市の雪対策」

- ・世界的に見ても、人口が () 以上の都市で毎年 () 近くの雪がふるのは () だけ。
- ・雪の多い日は、() から () の通きん時間まで、1日に除雪車 (約 () 台、(約 () 人で道路などの雪を取りのぞく。
- ・除雪した雪は、約 70 か所ある () に運ぶ。市の中心部には、() をつくるなどくふうしている。

「雪や夏のすずしさをいかした観光」

- ・札幌市をおとずれた観光客数は、() 月がもっとも多く、夏に比べると冬の観光客は () ない。
- ・冬に () を行い、観光客の増加に努めている。今では、多くの人々を集める () に知られるイベントとなった。
- ・() は、() を利用しようと中学生や高校生が始めたおまつりがきっかけ。

2 教科書 p 60・61 を読み、自然を生かした十勝地方の農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・十勝地方は、() が広がり、夏も () 気候。
- ・() をはじめとして、()、()、()、() を作っている。
- ・作物の病気を防ぐために、() をしている。
- ・畑の規模が大きい十勝地方では() を使って作業が行われる。

1 教科書 p 62・63 を読んで、北海道の文化について () にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・北海道で昔から生活していたのは、先住民族である()の人々。
- ・アイヌの人々は、()とよばれる家に住み、魚や動物、山菜をとったり、あわなどのざっこくを育てたりしながら、()の中でくらしていた。
- ・自然のめぐみに()しながら、すべてのものや生き物に、() (神)を感じてくらしていた。
- ・北海道の地名の多くは、()が由来になったとされている。札幌さっぽろはアイヌ語で()、意味は()。

2 寒い土地のくらしの特色を考え、教科書 p 63 の表にあるキーワードを使って、キャッチコピーをつくりましょう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きましょう。

キャッチコピー

理 由

教科書 p 42～43

組 番 名前 (_____)

1 教科書 p 42 **1** の写真を見て、四季の変化についてまとめましょう。

長野県松本市では、() は桜がさき、() には太陽の光がふり注ぎ、
() には木々が紅葉し、() には雪景色が見られます。

6月中ごろから7月ごろにかけては、雨が多くふる()の時期です。そして、
() から()にかけては()がやってきます。

() の変化が見られることは、日本の()の大きな特色です。
() とは、その地域の天気、気温、風などの長い年月の平均的な状態です。

2 教科書 p 43 **2** や **3** ～ **6** の資料を見て、地域による気候の違いについて考えます。

(1) 北海道でえぞやまざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。

また、沖縄でひかんざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。

北海道 えぞやまざくら

月 日

沖縄 ひかんざくら

月 日

(2) なぜ、北海道と沖縄では、桜がさきはじめる時期がちがうのでしょうか。 **3** と **6** の資料を見比べて、まとめましょう。

3月の北海道と沖縄を比べると、北海道知床半島では、()が見られ、
沖縄県石垣島では()が行われています。3月の北海道と沖縄では、
()が大きくなるのだと思います。

教科書 p 44～45

組 番 名前 (_____)

1 教科書 p 44 1 の資料を見て、7月と1月の降水量の違いについてまとめましょう。

- ・ 太平洋側の降水量は () 月に多い。
- ・ 1月に降水量が多いのは () 側である。

2 教科書 p 44・45 の文章を読んで、つゆと台風、季節風についてまとめましょう。

つゆ………… () から () にかけて、雨が多くふる時期のこと。場所によっては () で多くの雨がふる。() にとっては、めぐみの雨となる大切な時期。

台風………… () から () にかけて、日本をおそう。特に () や ()、() は、台風の被害が多い。

季節風…… () によってふく方向が変わる風のこと。日本の上空では、夏には () (太平洋) から、冬は () (ユーラシア大陸) からふく。夏には () に多くの () をふらせ、冬には () に () や () をもたらす。

3 教科書 p 44・45 を参考に、つゆと台風、季節風のえいきょうについて正しいものに○を、正しくないものに△をつけましょう。

- () 夏の北海道は、ほかの地域とくらべて雨が少なく、つゆがない。
- () 台風の強い風と多くの雨で、電柱や木はたおされるが、作物がだめになることはない。
- () 冬の日本海側では、晴れる日が多く、太平洋側では、雪がふる日が多い。
- () 夏は、つゆや台風のえいきょうで、日本全体で雨が多い。特に太平洋側で多くの雨がふる。

1 教科書 p 46 **1** のグラフを読み取りましょう。

ほっかいどう 北海道の気候【おびひろ帯広】……年平均気温は () °C で、寒さがきびしい。また、降水量は、他の地域より () ようだ。

にほんかい 日本海側の気候【じょうえつ上越】……夏の気温は、() °C ～ () °C で、太平洋側と同じくらい。また、1月や12月は降水量が () mm 以上で、たくさん雪が降っていることが分かる。

中央高地の気候【かるいざわ軽井沢】……1月の気温は () °C より低く、8月は () °C に近い。夏と冬の気温差が大きい。また、一年を通して、() が少ない。

太平洋側の気候【しずおか静岡】……年平均気温は () °C で、あたたかい。また、夏や秋によく () がふる。

せとないかい 瀬戸内海の気候【たかまつ高松】……() の気候と似ている。年降水量は () mm でやや少ない。

なんせいしょうとう 南西諸島の気候【な は那覇】……12月の気温は () °C に近く、冬でもあたたかい。また、年降水量は () mm で、雨が多い。

3 教科書 p 47 の「ひろとさんのまとめ」を参考に、これまでの学習をふりかえって日本の気候の特色についてまとめましょう。

- ・ 日本には () があり () や () もくらしにえいきょうする。
- ・ 日本にはおおきく () の気候がある。
- ・ 各地の気候は、() や ()、() によって、あたたかさや雨、雪の量にちがいがあある。